

第6回基礎情報学研究会実施報告

2014年2月20日
基礎情報学研究会 高田信夫

- 1 日時：2014年1月15日（日）14：00～17：00
- 2 場所：コンピュータソフトウェア著作権協会会議室
- 3 参加者：20名
- 4 テーマ「基礎情報学、ここがわからない」
- 5 講師：西垣通（東京経済大学教授）、中島聡（埼玉県立大宮武蔵野高校教諭）
- 6 講演および討論の内容

最初に西垣先生から、事前に質問があった以下の項目について、簡単に解説があった。

- ①「情報を「それによって生物がパターンをつくりだすパターン」であると定義することもできる」とあるが、生存活動のパターン例を知りたい。
- ②有機構成とオートポイエーシスについて詳しく知りたい。
- ③クオリアについて、一回限りの体験にはどんなものがあるか知りたい。
- ④HACSについてももう少し詳しく説明してほしい。

続いて、中島先生から現在制作中の高校情報と基礎情報学のDVDの中から、「錯視」「主観から客観へ」「構造的カップリング」などについて、パワーポイントのスライドを見せながらの解説があった。

休憩をはさんだ後にディスカッションに入り、以下のような話題が出され話し合われた。

- ・ 高校での基礎情報学をベースにした情報の授業では、従来型の一斉授業の形ではなく、ワークショップ形式の授業というのも考えられるのではないか。
- ・ 情報モラルと基礎情報学の関係。
- ・ 暗黙知（身体知）と教育の問題。